



編集、発行

令和7年3月発行
きらきら大洗ネットワーク研究会
大洗町生涯学習課社会教育係
Tel.029-267-0230
Fax.029-267-1051

令和6年度
大洗町家庭教育学級 合同講演会

講演テーマ

自分も相手も
大切にできる
社会って、
どんな社会？



レインボーフラッグ
：LGBTQ+の尊厳と社会運動のシンボル

令和6年12月14日トヨペット スマイルホール 大洗で開催された、
大洗町家庭教育学級合同講演会・交流会に参加しました。

性的マイノリティとは、性的少数者という意味です。頭文字をとって
LGBTQ+（エルジイピーティキュウプラス）と表すこともあります。

L：レズビアン 女性の同性愛者

G：ゲイ 男性の同性愛者

B：バイセクシャル 男性、女性両方に魅力を感じる

T：トランスジェンダー 体と心の性が一致しない

Q：クエスチョニング/クイア 自分の性がわからない、または決めてない

＋：プラス それ以外のさまざまな性

令和6年度男女共同参画週間キャッチフレーズ最優秀作品

だれもがどれも選べる社会に

（水津 幸恵さん 三重県）

男女共同参画社会とは、男女が互いに人権を尊重し、「女性」や「男性」というイメージにあてはめてしまうことなく、一人ひとりが持っている個性や能力を十分に発揮できる豊かな社会のことです。

今回の講演会は、誰もが「自分らしく生きられる社会」を築くためにはどのようにしたらよいのか性的マイノリティの理解を通して考える機会となりました。

講師の特定非営利活動法人 RAINBOW 茨城の滑川友理さんは、ご自身が性的マイノリティの当事者であり、ご自分の経験をもとに、性的マイノリティとは何か、どのようなものがあるのか、そしてそれによって偏見や差別を受けたり当たり前の権利を得ることが難しい人たちがいる現状をお話しになりました。日本には人口の3～10パーセントの割合の人（13人に1人）に性的マイノリティの人がいると言われており、それは左利きの人、血液型がAB型の人の割合と同じだそうです。そして、その人たちが抱える問題を知ることが、誰もが生きやすい社会づくりの上で重要なことであり、私たちが今日からできることとして、「初めから否定しない」「特別扱いしない」「アンテナを高くし、生きづらさのサインをお互いに見逃さないように」と締めくくられました。

男女共同参画ミニ知識 ⑩ 『インクルーシブ教育』と『共生社会』

インクルーシブ教育とは、国籍や人種、言語、性差、経済状況、宗教、障害のあるなしにかかわらず、すべての子どもが共に学び合う教育のことです。インクルーシブ教育がめざすのは、「共生社会」です。共生社会とは、これまで社会参加できるような環境になかった障害者などが、積極的に参加・貢献していくことができる社会です。

日本でも、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓うSDGsの考えと共にインクルーシブな社会「共生社会」を目指す方針が示されていますが、環境整備や人材育成などの課題も多いのが現状です。

参考文献：文部科学省「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築」

～きらきら大洗ネットワーク研究会員募集～

私たち“きらきら”のメンバーは、
隔週水曜日午前中を活動日とし、豊かで生き生きとした活力あるまちづくりと、
女（ひと）と男（ひと）が共に幸せになるための地域活動をボランティアでしています。

是非一度、大洗活動支援センターへお越しください。

みなさまのご参加をおまちしております。

お問い合わせ ☎ **267-0230** 生涯学習課 社会教育係

きらきら大洗ネットワーク研究会の「きらきら」は、海・女・男のダイナミックなかがやきに夢を託して名付けました。

編集後記

昨年11月13日（水）水戸市清掃工場「えこみっと」の見学と、境町歴史民俗資料館への研修を行いました。「えこみっと」では ・ごみのエネルギーの有効活用 ・省エネルギーへの取り組み ・ごみの資源化 などの取り組みについて説明を聞きながら施設を案内してもらいました。施設内は機械化が進んでいましたが、資源ごみや粗大ごみのブースでは、やはり人の手が必要でした。私たち一人ひとりが家庭からきちんと分別してごみを出すことの大切さを学びました。

境町歴史民俗資料館では、館長から、境町の主な産業や地域の歴史・風習について説明をしていただきました。丁寧なお話しぶりから境町の歴史を大切に保存していることが伝わりました。大洗町にも、年代物の生活道具などの展示場所があるといいですね。